



9月は認知症啓発月間でした。市制60周年記念シンポジウム、オレンジライトアップ、ブックフェア、図書館で開催した事業をご紹介します!!

発行：北九州市認知症支援・介護予防センター
 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号
 ☎ 093-522-8765

ホームページ
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/ninkai-center/>

認知症地域支援推進員
 中村真理子 松岡由佳 福嶋深幸



市制60周年記念シンポジウム

認知症とともに「北九州市の今とこれから」

届いた！認知症本人の声！



右から 氏名公表で初発信の沼田賢一郎さん(当事者)
 沼田眞由美さん(ご家族) 丹野智文さん

九月二六日、「認知症とともに」北九州市の今とこれから」をテーマに市内の介護事業所、企業、地域などの認知症に関する取組みの紹介や、認知症当事者と家族の対談をおして、認知症について考えるシンポジウムを開催しました。

第一部：事例紹介、第二部：認知症力フエを知る、第三部：本人トークの三部構成です。全国各地で年間百回以上の講演活動を行っている、当事者の丹野智文さんが本人コメンテーターを下さいました。切れ味のよい、本人ならではの発言から、宝物のようなたくさんの「気づき」をもらいました。

印象に残った丹野智文さんの言葉

「見守りは監視にならないように」「家の中で孤独と孤立を感じて、ここにいたくないと、こっそり出ていく本人がいる。行方不明の人が発見されたら『よかつたね』で終わりにしない」

「本人や家族が元気をもらった本や、オーディオブックがあることも紹介してほしい」

「お店の売り場の表示は、床にあると高齢者にもわかりやすい」「お店に入ると高齢者はトイレを探すので、トイレの表示もわかりやすくしてほしい」

「本人の話が聴かないでカフェを作って、認知症の人が来ないんですよねと言っている」「我々はケータイ世代。どんなケータイを使って、認知症でもひとり歩きができる。各所にWi-Fiを入れてほしい。」「お財布を持たないと、意見も言えなくなる、持たない金額は3千円くらい。自分で決めることはとても大切」

本人トークで沼田さんご夫妻と対談
 沼田さんご夫妻からも発信していただきました。

「一足先に認知症になった者から、なつても心配しなくていいよと伝えたい。そのことを知ってもらうことが大切。」

「認知症を受け止めて、いろんな人と出会って、いい体験をした。人の優しさや温かさになくさん触れた。」

「新しい人生が始まり、発症から6年経つてもこんなに元気。みんなが安心して認知症になれる社会を、ともにつくってほしい。」

★シンポジウムの模様は YouTube で動画配信中です。(令和6年3月末までの予定)

- 第1部 <https://www.youtube.com/watch?v=yKuY7baogbl>
- 第2部 https://www.youtube.com/watch?v=Xd_VA5UesSo
- 第3部 https://www.youtube.com/watch?v=_VzP11TmI-M



認知症ブックフェアのご協力 ありがとうございました！！



令和3年度より始まった「北九州市認知症ブックフェア」。市内15の書店様のほか、市立図書館・分館全館に加え、今年度は市民センター95館にご協力いただき、多くの場所で認知症の普及啓発ができました！それぞれの展示に工夫が一杯！感謝です。

『認知症ブックフェア』のご紹介

市内書店編



ブックセンターエスト
小倉本店様



喜久屋書店小倉南店様



未来屋書店八幡東店様



くまざわ書店小倉店様



白石書店本店様



ブックス熊谷様



後藤書店様

【その他ご協力書店】

- ・喜久屋書店小倉店
- ・ブックセンターエスト門司大里店
- ・ブックセンターエスト大手町店
- ・ブックセンターエスト鞆ヶ谷店
- ・くまざわ書店サンリブもりつね店
- ・くまざわ書店若松店
- ・ACADEMIA サンリブ小倉店
- ・未来屋書店戸畑店

ありがとう
ございました！



図書館編



門司図書館



若松図書館



八幡西図書館



小倉中央市民センター



朽網市民センター



大里分館(門司)



八幡南分館(八幡)



八幡大谷市民センター



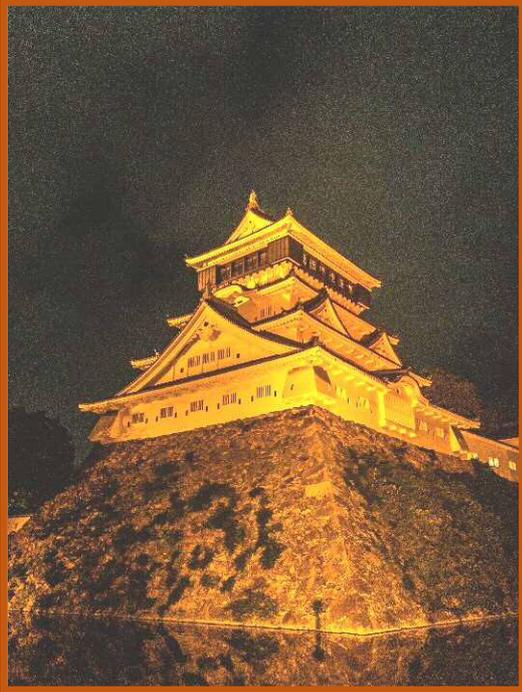
一枝市民センター

市民センター編

令和5年度 認知症啓発月間事業



💡 オレンジライトアップ 💡



《鷗外橋》

《小倉城》



《小倉駅新幹線口：ハイポール、動く歩道周辺》

雨上がりの小倉駅周辺は、オレンジ色にライトアップされ幻想的な雰囲気を漂わせていました。



《黒崎駅：ペDESTリアンデッキ周辺》

この日の黒崎駅周辺は、生憎の小雨模様でしたが、オレンジ色のライトアップが温かったです。





八幡図書館・小倉南図書館で『認知症にやさしい図書館』を開催しました

【八幡図書館】



福岡県作業療法協会作成の「小さな本棚」

谷川良博准教授による講座の様子



日頃からオレオレ詐欺被害等の高齢者問題に関心を持つ県立八幡高校2年生有志。「認知症にやさしい図書館」と「POP作成」の研修受講後、夏休みを利用してPOP作成に挑戦しました。力作揃いでPOPで紹介された本は貸し出し中が続いています。高齢者の利用が多い図書館で若い人の取組みが、キラキラ輝いています。



目に留まりやすい色とデザインのポップが並んでいます

八幡図書館では9月10日(日)に「認知症にやさしい図書館」が開催されました。令和健康科学大学の谷川良博准教授による講座『認知症の人の「心のうち」～決めるを考える～』と、市立八幡病院作業療法士 高木邦男氏による本の紹介、また、福岡県作業療法協会 担当理事 都甲幹太氏からは、9月に同協会が作成した「認知症の人や家族にやさしい小さな本棚～本人からのメッセージ編～」の紹介がありました。

【小倉南図書館】



開催前の打合せ



小倉南図書館 館長による朗読

小倉南図書館では、10月8日(日)に「認知症にやさしい図書館」が開催されました。

令和4年度に引き続き2回目の開催で、北九州市立大学、九州栄養福祉大学の学生さん、認知症・草の根ネットワークのカフェマスターさんにご協力いただきました。

前半は令和健康科学大学谷川良博准教授による講座と、日明病院作業療法士 福満裕氏による本の紹介、小倉南図書館和田館長による朗読で構成。後半の交流会では、日頃は出会う機会が少ない高齢者と学生が交流を楽しみました。2年間の継続開催で認知症と本のつながりが、緩やかに広がっていくのを嬉しく思いました。



講座と交流会の様子